小6 社会 歴史 縄文～江戸 穴うめ（20問）　版G

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿＿

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 大陸から伝わり、弥生時代に広まった農業が（　　）である

(2) 地面を掘り下げて柱を立て、屋根をかけた住まいが（　　）だ

(3) 前が四角く後ろが丸い形の大きな墓を（　　）という

(4) 中国や朝鮮半島から移り住み、技術を伝えた人々を（　　）という

(5) 人々のために橋や池をつくり、大仏づくりに協力した僧が（　　）だ

(6) 漢字をもとにつくられたひらがなとかたかなを（　　）という

(7) 「この世をば わが世とぞ思ふ」の歌をよんだ貴族は（　　）だ

(8) 唐の進んだ制度や文化を学ぶために送られた使いを（　　）という

(9) 平安時代の貴族がくらした広いやしきのつくりを（　　）という

(10) 役人の心構えを示した17の条文のきまりを（　　）という

(11) 中臣鎌足とともに蘇我氏をたおしたのは（　　）である

(12) 鎌倉時代に2度にわたって九州北部に攻めてきた国が（　　）である

(13) たたみや床の間をそなえた、和室のもとのつくりを（　　）という

(14) 平氏をほろぼしたあと鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である

(15) 全国の田畑を調べて、とれ高を記録させたことを（　　）という

(16) 1549年に日本に来てキリスト教を伝えた宣教師は（　　）だ

(17) 安土城を建てて天下統一を進めたのは（　　）である

(18) 大名が1年おきに江戸と領地を行き来するきまりを（　　）という

(19) 「東海道五十三次」の浮世絵をえがいたのは（　　）である

(20) 前野良沢らと『解体新書』を出したのは（　　）である